

台風 の雨と風

市長 明智忠直



今年には台風の当たり年になってしまいました。最近でも20号、21号と西日本へ上陸して多大な被害がありました。私はいつも台風が来るたびに、雨台風なのか風台風なのか注視してきました。ハウス栽培農家にとりましては、どちらかといえば風に對して警戒しなければならぬと思います。旭市ではビニールハウス栽培の園芸農家が多く、風速40m以上の強風になりますと必ず大きな被害が出ました。大雨で土壌が緩んだ後の暴風であるので、被害が大きくなるということもありますが、台風のたびに気にしておりました。

風は近年なかったような気がします。地球温暖化が進む中、今後ますます巨大な自然災害が発生することが予想されます。今から必要な知識を備え、一人一人が万全な対応を考えなくてはならない時代になってきたと感じています。風のみならず集中豪雨も当然恐ろしいものであります。西日本を襲った平成30年7月豪雨では、220人以上の尊い命が奪われてしまいました。山あいのふるさとの原風景が、川の氾濫、土石流により破壊され、3万棟を超える浸水家屋、取り残された集落が発生するなど、大災害につながる集中豪雨の恐ろしさを、改めて思い知らされたところであります。

台風ではありませんが、北海道でも地震による大きな災害が起こってしまいました。地方の人口減少は、こうした災害によっても進むかもしれないと思うような、今回の災害でありました。

市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時
土・日曜日…午前9時～午後5時
今月の休館日／9日(火)、18日(木)、毎週月曜日
岡市図書館(☎62-2560) <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「私が誰かわかりますか」



谷川直子 著
(朝日新聞出版)

老いた家族の介護に直面し「世間体」と「本音」に揺れる妻と長男の嫁。看取りの現場と生を全うする命の輝きを描く小説です。

「君に言えなかったこと」



こざわたまこ 著
(祥伝社)

元恋人へ、同級生へ、亡き母へ……。大切な人に伝えられなかった気持ちを伝える人たちが、過去を振り返る短編小説集です。

新着図書

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ●凡人の怪談 (工藤美代子) | ●ふたりぐらし (桜木紫乃) |
| ●斗南藩 (星亮一) | ●鏡の背面 (篠田節子) |
| ●骨が語る兵士の最期 (檜崎修一郎) | ●I S O R O K U (柴田哲孝) |
| ●火星の科学 (藤井旭) | ●一億円のさようなら (白石一文) |
| ●選べなかった命 (河合香織) | ●夏空白花 (須賀しのぶ) |
| ●日本百銘菓 (中尾隆之) | ●音叉 (高見澤俊彦) |
| ●子どもと木であそぶ (岩谷美苗) | ●新・水滸後伝上・下 (田中芳樹) |
| ●仏像と日本人 (碧海寿広) | ●ミダスの河 (柄刀一) |
| ●大友の聖将 (赤神諒) | ●大奥づとめ (永井紗耶子) |
| ●悪玉伝 (朝井まかて) | ●神に守られた島 (中脇初枝) |
| ●四十歳、未婚出産 (垣谷美雨) | ●襲来上・下 (常木蓬生) |
| ●うなぎばか (倉田タカシ) | ●跡を消す (前川ほまれ) |
| ●パラレルワールド (小林泰三) | ●しき (町屋良平) |
| ●任侠浴場 (今野敏) | ●ギケイキ2 (町田康) |

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／10月11日(木)、25日(木)
午後4時30分～5時
場所／市民会館